



## 落ち葉・稲わら・生ゴミでたい肥を作りますか？

### ■簡単なたい肥の作り方を紹介します。

#### ●たい肥の働きと効果性

- ① ゆっくりと効くバランスの取れた微量の肥料成分を含んでいるので、野菜の生育を良くします。
- ② 植物体や生ゴミが微生物の働きによって発酵分解したもので、これが土壌の団粒構造を作り、水持ちや排水・肥効を良くします。

### ■たい肥の作り方

#### 【1】用意するもの



#### 【2】積み込み



#### 【3】切り返し

腐熟が進んできたら切り返して積み直す(2、3回)。中心部の材料を外へ、外側のものを内側へ積む。

#### 【4】完成

発酵が終わって、バラバラになり完全したら出来上がり。



### ■家庭で手軽に出来るたい肥の作り方

#### 【家庭菜園で少量のたい肥を使う場合】



※ゴミ類と少量の土の層をサンドイッチ状にする。

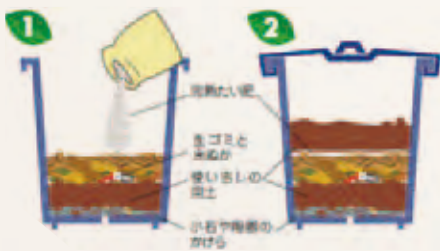
※植物質だけでなく動物物質のものが少量混ぜた方が良く分解する。

#### 【多く作りたい時】

コンポスターなどを使用する。いっぱいになったら1か月間熟成させる。

#### ポイント

- 生ごみは細かく切っておく
- 多量の塩分や油脂類が混入したものは避ける



## 野菜づくり

### Q & A



**Q** 今年のサツマイモは大きくなり過ぎました。120日で収穫したのにほとんどが大きなものでした。おいしくて適当な大きさのお芋を作るにはどうすれば良いのでしょうか。(9月号のお便り)

**A** 原因として考えられるものは以下の通りです。

#### ① 良い苗を選ぶ。

短い苗や茎が細い苗は、良いイモができません。良い苗は、長さ25cm以上あり、葉色が良く茎の太いもので節が6節〜8節あるものを選んでください。

#### ② 早生種

生育期間の短い早生種では、収穫が遅くなるほど大イモになります。品種でイモの大きさが異なることがありますので、品種特性を確認ください。

#### ③ 苗の葉柄の付け根をしっかりと埋めなかつた。

葉と茎を接続している部分を葉柄と呼びます。葉の葉柄の付け根部分からイモのできる根が出ます。葉柄の付け根部分を少なく埋めればイモ数は少なく、イモは大きくなります。逆に、葉柄の付け根部分を多く埋めれば、イモの数は多く、イモは小さくなります。